

岐阜県病害虫防除所より令和7年7月18日付けで「斑点米カメムシ類注意報」が発令されました！

カメムシの種類と加害時期

カメムシ類は、種類によって加害時期や加害部位が異なります。薬剤防除をする際は、防除効果の発現時期に注意した適切な防除が必要になります。



イネカメムシ

出穂直後から
稲を吸汁



吸汁部位：主に基部



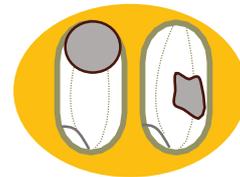
不稔被害が発生

出穂期に
効果発現する
薬剤防除が必要！



クモヘリカメムシ ホソハリカメムシ

開花期から
乳熟期にかけ
稲を吸汁



吸汁部位：主に頂部や腹部



斑点米が発生

出穂後に
効果発現する
薬剤防除が必要！

斑点米カメムシ類の防除ポイント

1 出穂10日前までに畦畔雑草の草刈りを行いましょう

カメムシ類の住処である畦畔雑草の除草が重要です。ただし、出穂直前の草刈りはカメムシ類をかえて水田に追い込む恐れがあるので、**出穂10日前までに完了**させましよう。

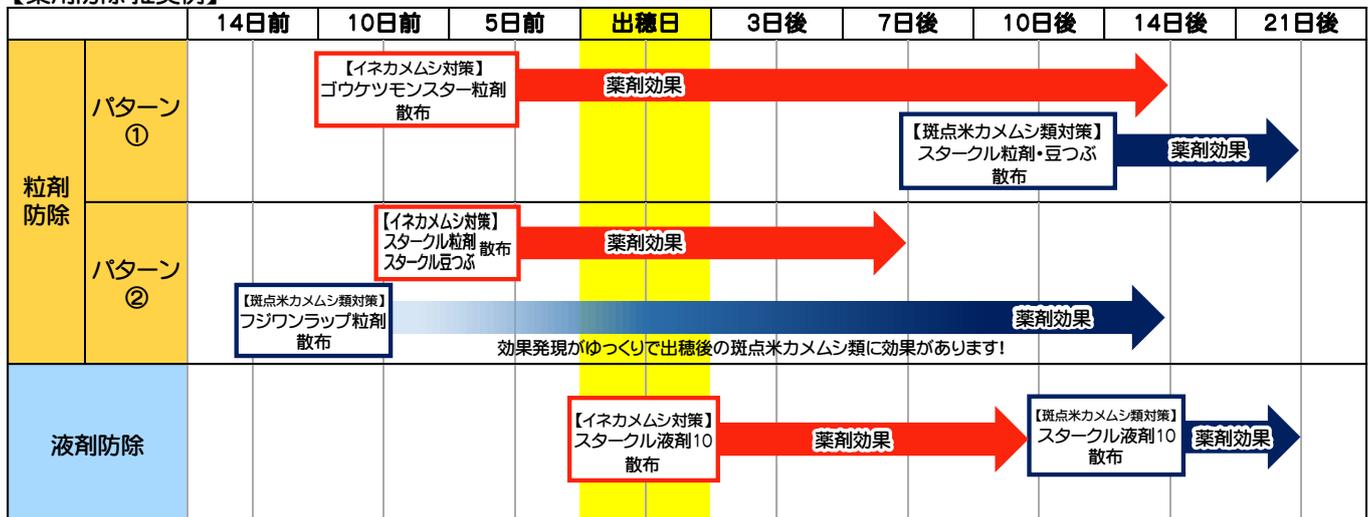


2 出穂期の薬剤防除を行いましょう

出穂期・出穂後それぞれの時期を加害するカメムシ類に対する防除を実施しましよう。（下記参照）



【薬剤防除推奨例】



※ゴウケツモンスター粒剤の使用時期は「収穫45日前まで」となります。散布の際は使用時期に十分ご注意ください。

※特別栽培米に取り組んでいる場合は、農薬の使用回数および使用薬剤に制限がありますので、ご注意ください。